

## 八戸市指定ごみ袋に関するアンケート

家庭ごみの減量講座にお越しの方々にアンケートを実施します。

八戸市では平成13年6月から、購入時にごみ処理手数料を支払っていただく有料化の指定袋制を採用しておりますが、当初から、形状は「平袋」で素材は「低密度ポリエチレン」を採用しております。

そうした中、議会やごみ減量推進員、市民の方から形状について「取っ手付き」を求める声が寄せられておりますが、製造コストや販売店での設置スペースなどから、両方のタイプを併用して作成・流通させるのは効率的でないと考えております。

今後の指定ごみ袋の形状や材質等の検討の参考にするため、皆様のご意見をお聞きしたく、アンケートへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

アンケートをまとめるために次にお答えください。

性別（ 男性 ・ 女性 ）

年齢（ 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上 ）

問1 今回用意した3種類のごみ袋のうち、どのタイプがもっとも使いやすいですか。

（「結びやすさ」、「持ち運びやすさ」、「入れやすさ」などについて）

もっとも使いやすいものを○で囲んでください。

1. 「平袋」で「低密度ポリエチレン」 ⇒ 現状の八戸市のタイプ（①のタイプ）
2. 「取っ手付き」で「高密度ポリエチレン」（②のタイプ）
3. 「取っ手付き」で「低密度ポリエチレン」（③のタイプ）

理由について

（ ）

問2 今回用意した3種類のごみ袋のうち、どのタイプを指定ごみ袋として希望しますか。

（「入る容量」、「伸縮具合」、「丈夫さ」や問1に掲げる「使いやすさ」などを総合的に判断して）

1. 「平袋」で「低密度ポリエチレン」 ⇒ 現状の八戸市のタイプ（①のタイプ）
2. 「取っ手付き」で「高密度ポリエチレン」（②のタイプ）
3. 「取っ手付き」で「低密度ポリエチレン」（③のタイプ）

理由について

（ ）

問3 その他、ごみ袋に関してご意見等がありましたら、自由にお書きください。

（ ）

（補足）

八戸市の現状の「平袋」タイプに比べ、「取っ手付き」タイプはコスト増が考えられますが、今回のアンケートでは、コスト増（税金負担や価格転嫁など）の点は考えず、使いやすさなどの点から回答してくださいようお願いします。

【参考】

高密度と低密度の違いについて

- ・ 高密度ポリエチレンは引っ張っても破れにくいですが、同一方向に裂けやすく手触りはパサパサしています。
- ・ 低密度ポリエチレンは、高密度ポリエチレンに比べて伸びて破れることがありますが、裂けにくく、手触りはツルツルしています。